

第 68 回全国 PTA 連合会大会 佐賀大会参加報告

参加者：生澤 麻矢・江頭 多恵子・四ヶ所 敬輔

第68回 全国高等学校PTA連合会大会

佐 賀 大 会

大 会 要 項



「広めよう 高めよう 慈しむ心」
～君たちがつくる希望の明日を～

<大会日程>

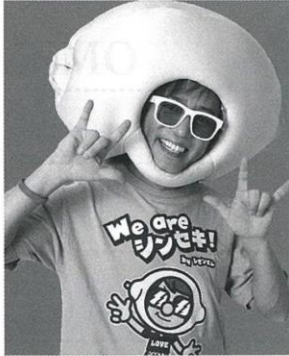
大会第 1 日：平成 30 年 8 月 20 日(月)

時間	行事予定	会場
09:00～09:30	アトラクション	各会場
09:40～10:40	開会式・表彰式	主会場：佐賀県総合体育館大競技場 副会場：佐賀市文化会館大ホール 副会場：佐賀市文化会館中ホール 副会場：唐津市文化体育館 副会場：鳥栖市民文化会館 副会場：嬉野市体育館
10:50～12:00	基調講演	
12:00～13:00	昼食・アトラクション	
13:30～16:00	【分科会】 全国高 P 連研究発表 第 1 分科会 第 2 分科会 第 3 分科会 第 4 分科会 特別第 1 分科会 特別第 2 分科会	【各分科会会場】 佐賀市文化会館大ホール 佐賀県総合体育館大競技場 唐津市文化体育館 鳥栖市民文化会館 嬉野市体育館 佐賀県総合体育館小競技場 佐賀市文化会館中ホール

大会第 2 日：平成 30 年 8 月 21 日(火)

時間	行事予定	会場
09:00～9:30	アトラクション	各会場
09:40～10:50	記念講演	各会場
11:00～11:20	分科会報告	主会場：佐賀県総合体育館大競技場 副会場：佐賀市文化会館大ホール 副会場：佐賀市文化会館中ホール 副会場：唐津市文化体育館 副会場：鳥栖市民文化会館 副会場：嬉野市体育館
11:20～12:00	閉会式	

基調講演



「レモンさんのビタミントーク！」

～慈しみの愛言葉！We are シンセキ！～」

ラジオD」 レモンさん^{やまもと}（山本シュウさん）

講演概要

時代は、“第二の明治維新” 真っただ中！だから、叩き合い、迷い、孤独が増えています！

レモンさんの合言葉 “We are シンセキ！” その思いはズバリ！

「あなたの命は、あなただけのものじゃない！」ということ！

遠慮なく“助けて～！”と叫んでいい“権利”、それが“人権”！

あなたは、あなたのまま“で” いい！以上に、あなたのまま“か” いい！と言える時代なんです！

だから、これからの流れの方向や、具体的に明日からできそうな行動、本当のコミュニケーションの形、捉え方、練習の仕方など、仲間同士、シンセキ同士のように、楽しくハッピーな時間を共有しながらお届けします！

プロフィール

1964年大阪府門真市出身。

高校卒業後、26才まで様々な仕事を経験し、アメリカに留学。

そこで、日本の大手芸能プロダクションのスカウトを受け帰国。30才でラジオDJデビュー。

その後、娘の通う小学校のPTA会長を、レモンの被り物をした“レモンさん”というキャラクターで5年間務め、その活動が、著書「レモンさんのPTA爆談」で発表された。更に、エイズの啓発や、献血推進、被災地支援などのプロジェクトリーダーとして活動し、大阪大学の講師も今年で12年目。自称「お節介なシンセキのオパちゃん！」として、講演会などいろんなお節介をしに、全国を飛び回っているレモンさんの合言葉は、「We are シンセキ！」

分科会

第4分科会 事例発表と研究協議

テーマ

家庭教育とPTA

～情報社会で問い直される家庭教育とPTA活動～

趣旨

情報化社会の進展に伴って、パソコンやスマートフォンなどの情報機器は、家庭の中に深く浸透し、子どもも親もそれらを手放せない生活が当たり前となりました。その影響もあって、家庭の中で親子が直接触れ合う機会が少なくなっているのが現状です。こうした家庭環境の中で、家族はどのような触れ合いの場面を求めているのか。また、地域での活動を含め、PTA活動は子どもとつながろうとする家庭に、どのような効果的なアプローチを提示していけるのか。本分科会で研究協議を行います。

事例発表校

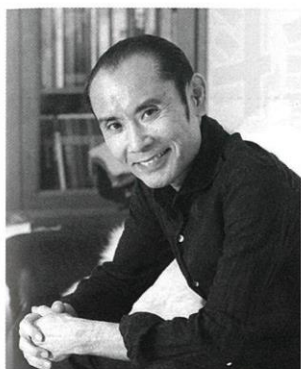
- ・岩手県立大船渡高等学校 P T A
- ・埼玉県立児玉白楊高等学校 P T A
- ・新潟県立海洋高等学校 P T A
- ・山口県立萩高等学校 P T A

助言者

佐賀大学大学院 学校教育学研究科 教授 岡 陽子 氏

佐賀県立鹿島高等学校 校長 井手口 芳季 氏

記念講演（嬉野会場）



「流れのままに」

俳優 片岡鶴太郎氏
かたおかつる たろう

講演内容

俳優・お笑い芸人・プロボクサー・画家・ヨギー（ヨガをする男性）と5つの顔を持つ鶴太郎氏。63歳を越えた今、毎日が楽しくて仕方がないという。

※1「毎日、午前1時に起床し、4時間のヨーガと2時間の朝食タイム。（中略）奇人変人に見えるかも知れませんが、なぜ自分がこうしているのかと申しますと、とにかく楽しいから。」と、鶴太郎氏は著書の中で語っていらっしゃいます。そんなストイックな鶴太郎さんに気の向くまま「流れのままに」にご講演して頂きます。

好きな事を心行くまで楽しみすぎてその道のプロフェッショナルにまでなってしまう。そんな鶴太郎さんが演者として日々吸収している空気。アーティストとして表現している色彩。そのマルチな才能の源は？そして今一番興味があるものは？

私たちの生活を今より少しだけ楽しくする鶴太郎流エッセンスをお届け致します！

【※1片岡鶴太郎著「心の中に「静」をもつ」より】

プロフィール

高校卒業後、片岡鶴八師匠に弟子入り。3年後、東宝名人会、浅草演芸場に出演。その後、バラエティー番組を足掛かりに広く大衆の人気者になる。目下、幅広いキャラクターを演じられる役者として活躍し、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞。

画家としては、1995年に初の絵画展「とんぼのように」を東京で開催。以降、毎年新しい作品での個展を開催している。2001年、初の海外個展をフランス・パリにて開催し、好評を博す。2011年、初の本格的仏画を出展。2013年に第69代横綱白鵬の化粧まわしのデザインを担当し、伊勢神宮で奉納・お披露目された。2015年3月、書の芥川賞といわれる「第10回手島右卿賞」、同7月「第32回産経国際書展功労賞」を受賞。2016年4月より、羽田空港国内線第1旅客ターミナルにて、放送作家・小山薫堂氏とのコラボレーション作品11点を「旅する日本語展」として広告掲出。

また2017年5月、インド政府公認プロフェッショナルヨガ検定に合格し、インド政府より、ヨガマスター、ヨガインストラクターの称号を授与され、第1回ヨガ親善大使にも任命される。

＜感想＞

分科会の事例発表では、テーマが「家庭教育と PTA ～情報社会で問い直される家庭教育と PTA 活動～」ということで、各校とも携帯・スマートフォンの所持率や使い方、家庭でのルール作りといった内容が多かった。

今や高校生のほとんどが自身のスマートフォンを持っていて当たり前の世の中となり、ルールはもちろんだが、トラブルに巻き込まれないことと同時に、賢い使い方を子供と一緒に考えることの重要性を感じた。

“レモンさん”こと山本シュウさんについて何の情報も持たず、正直登場した時の様子に当初は戸惑いすら覚えた。

話が始めるとその熱い思いとトークの巧さに引き込まれ、あっという間の 1 時間であった。今回の佐賀大会では、このレモンさんの講演が最も印象に残り、かつ本当に聴けて良かったと思えるものとなった。本校の生徒や先生にも是非聞かせたいと思える素敵な基調講演であった。

